

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター こどもの森			公表日	令和8年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の特性に応じてスペースを分けたり、時間ごとに分けるなど工夫している。 子ども達の特性に応じて個別に対応できる部屋がある。 利用時間が重ならないよう、事前に職員間でやり取りをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用定員との比較は適切である。 ・感覚の苦手な子ども達も多く、個別での対応が必要である為、スペースが足りない事がある。 ・気持ちが落ち着かない子に対応する為のスペースの確保が難しかった（落ち着ける環境の確保、環境の整備等） ⇒子ども達の特性に合わせて対応できるよう環境の整備や設定を見直していく。感覚過敏がある子が気持ちを落ち着かせる事ができるようなスペースを作れるよう検討をしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の利用児童に合わせて配置を行い、必要な場合は法人内で連携を取り応援に入ってもらっている。 ・その日のクラス構成や活動内容に合わせて職員配置を変更している。（安全に活動ができるようにしている） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置基準は満たしているが、職員の欠席がでた際に補助ができない。 ・担当者会議訪問支援に関わる時間の設定が難しい。 ・職員のお休みが重なると安全面に不安がある。 ⇒今後も業務の見直しを進めていきながら、細やかに情報を共有、連携を図りながら療育の充実に向けて取り組んでいく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に分かるよう視覚的支援をさまざまな場面で取り入れている。 ・スケジュール表など個別に取り入れ視覚的に分かるよう示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋をさまざまな場面で使用する為、子ども達によっては混乱する原因になっている。 ⇒今後も情報伝達等への配慮ができるよう環境面の見直しを行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・降園後は掃除・消毒を徹底し清潔保持に努めた。活動に使用した物品やおもちゃ等の洗浄・消毒なども実施。今年度より消毒用噴霧器を取り入れた。 ・季節に合わせた子ども達の作品を掲示するなどし、季節を感じ楽しめるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚特性に応じた環境（聴覚過敏や温度、湿度など）整備に不十分さがある。建物の構造が音の反響しやすいものになっている。 ・お昼寝の部屋と教室が隣にある為、声や音が伝わりやすい状況がある。 ⇒安定した睡眠がとれるよう環境の整備や工夫が必要。防音シートの活用や湿度、温度計を活用し環境調整を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別に使用する部屋や場所、時間など話し合いながら決めて準備をするようにしている。日により個別訓練をする児童が異なる。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングノートを見直しして情報の共有に努めている。 ・朝礼や職員ミーティングの中で話し合いを行い取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員ミーティングを月2回設け取り組んでいるが、全員での参加が難しい。 ・職員全員が揃う時間が限られている為、情報が十分に共有できていない事がある。 ⇒口頭でのやり取りも多い為、見直しやすくする為に工夫していく。朝礼や職員ミーティングの内容はノートでの見直しで情報共有ができていたので継続し実施していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方からの意見が出た際には、職員で共有し話し合い、検討や見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて保護者との面談を行い、意向に沿うよう努めているが、満足に足る支援に繋がれている事ばかりではない。 ⇒伝達もれないよう、ミーティングでも全職員で話し合うようにしていく。ノートの記入で確認ができるようにしていく。 ・保護者の方から頂いた意見をもとに今後も改善に繋げていく。

	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼や職員ミーティング、降園後の時間などに報告や気づいた点など共有している。	・意見等は常に伝えられる状況ではあるが、職員全体での把握が十分ではない事がある。 ⇒職員全体で意見を出し合いながら、共有できる機会を作り業務改善に繋げていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月1回、虐待や衛生等に関する研修は法人で実施しており全員が参加している。	⇒療育内容に関する研修は個人に委ねられており、全体として外部研修を受講するなどし改善する必要がある。今後は、より専門性を高められるよう勉強会や外部研修を検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページにて公表している。	・文章での公表はできているが、分かり易く図式にしたものがまだできていない。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・ご家族からの聞き取りや関係機関からの情報収集、OTによる各種発達評価を踏まえ作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員で話し合い、検討しながら計画書を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画書に基づいた活動を意識し支援を行っている。 ・月2回の職員ミーティングや朝礼で児童の支援内容を職員全体で把握できるようにしている。	⇒今後も定期的にミーティングを行い、職員間で内容を再確認しながら支援を行っている。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・子ども達の特性や行動等の評価に標準化された評価表を活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・子ども達それぞれに必要な支援内容がガイドラインに基づいて話されている。	⇒ケースによっては、十分に行えていない事もある為、今後も意識しながら取り組む。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・主にクラス担任が主体となり活動を組み立てている。活動の具体的な内容については、OTからのアドバイスをもらいながら子ども達の特性に合わせた活動になるよう工夫している。	⇒職員ミーティングなどで活動プログラムについての振り返りを行いながら、子ども達の特性に合わせた活動内容や個々に合わせた支援内容になるよう今後も取り組んでいく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節や行事に合わせて児童が楽しめる活動を職員で相談しながら決めている。 ・活動は、各担任を中心に決め、プログラムの内容については、OTを含め関わったスタッフで振り返り、子ども達の成長にあった活動が楽しく実施できるよう日々の課題の検討を行った。	・活動準備に時間がかかってしまう事がある為、簡素化する必要がある。(必要な物品を揃えていく) ⇒子ども達の特性に合った活動だったか振り返りを行いながら次の活動に繋げていく。 ⇒活動プログラムが固定化されないよう、日々の様子を踏まえて今後も工夫をしていく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団やグループ、個別活動など工夫する事が出来た。 ・個々の発達に応じた活動や支援を行っている。 ・子ども達の特性に応じたグループ活動を行った。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日朝礼で、一日の流れやクラスごとの活動内容を全体で共有している。 ・子ども達の変化やお業の変更、保護者の方からの伝達事項など全体で共有するよう努めた。	・限られた時間で行う為、細やかな打ち合わせ(机上活動等)ができない事がある。 ・パート職員や不在であった職員と共有できていない事がある。 ・朝礼時不在の職員もいる為、朝礼の内容は記録で毎回残し確認できるようにした。 ⇒活動内容を充実したものとなるよう、情報共有を効率的に行っていく。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・全体では難しいが、当日同じクラスの配置であった職員と振り返りをし、必要であれば翌日全体で共有している。 ・活動での様子を職員間で情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間によっては、当日に振り返りができないことがある。 ⇒細やかに共有していく為に意識しながら取り組んでいく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・記録ソフトを活用し記録を行っている。 	⇒記録の際には、その日の子ども達の様子が分かるよう細やかに記入する事を意識しているが、今後も実施していきながら子ども達のより良い支援に繋げていけるよう振り返りも行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回モニタリング、個人面談を実施している。活動での様子やお家での過ごし方など伺い計画書の見直しを行っている。 ・定期的な個人面談だけでなく、就学や育児等に対するご相談等については、出来るだけ面談で行うようにした。 	⇒今後も保護者の方と細やかにやり取りを行いながら、支援内容についての振り返りを行う事や具体的な支援方法についての検討などを随時行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者、担任、個別担当など必要に応じて参画している。 ・他の業務との兼ね合いから必ずしも行えない事がある。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保健師さんや関係機関の方の見学等により連携に努めている。 ・市の相談に入る際には、現状をお伝えしたり、相談内容やアドバイスを頂く事ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保健、医療、保育等関係機関との連携がまだ十分ではないところがある。 ⇒今後も子ども達が安心して地域へと繋がっていけるよう連携に努めていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・園との情報共有や引継ぎを書類等も含め行っている。 ・送迎時には、子ども達の気になるところなど担任と情報共有するよう意識している。 	⇒園との情報の共有ややり取りなどまだ不十分ところがある。今後も細やかに行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・直接的な話し合いの場に参加したり、サポートブックを作成し引継ぎを行っている。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別で言語に通っている子や市の相談に入っている子ども達のアドバイスを受けている。(他機関や心理士さんからの情報等) 	⇒地域の児童発達支援センターや事業所との連携について、まだ十分に行えていない。今後も地域全体の質の向上や取り組みについて協議していく。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加ができていない。 ⇒専門性を高められるよう勉強会や外部研修に職員が参加できるよう検討していく。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会子ども部会に参加している。 	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等に併用しているお子さんは交流があるが、そうでないお子さんは交流の場が持てていない。 ⇒交流できる機会を持てるよう協議していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳やコドモン、送迎時間を活用しやり取りを行っている。必要に応じて電話を行っている。 	⇒今後も保護者の方に発信する際は、誤解や認識のずれが生じないよう配慮する事や保護者から頂いた意見を共有、検討していく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別では保護者と毎回やり取りする機会がある為、比較的対応等について話ができている。 	⇒今後もこどもの森での活動の取り組みをお伝えしながら、ご家庭での支援に繋げられるよう取り組む。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に説明を行い、お便り等でもお知らせしている。 	⇒今後も保護者の方に内容を分かりやすくお伝えできるよう努めていく。	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングや面談などでご家族の意向を確認しながら作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・児童発達支援ガイドライン、ご家族の意向に沿った計画書の作成に努め、同意を得るようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者の方からの相談は連絡帳や電話等で対応している。内容によっては直接面談を行うようにしている。	⇒今後も、保護者の方が相談しやすい関係づくりを心掛けていく。随時相談や対応ができる体制作りを行っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保育参観や行事等で児童を通じて保護者の方向士が交流や関わりが持てるよう心掛けている。	⇒父母の会がないが、保護者同士の交流を望まれる方との関わりを持つことに抵抗がある方もいる。負担のないかたちで実施できるよう内容の検討を行っていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談等の申し入れがあれば電話等で速く対応したり、面談を行っている。 ・担当職員や責任者に報告し対応を行っている。 ・できるだけ速やかに対応するよう職員全員で努めている。	⇒今後もさまざまな相談に丁寧に対応できるようにしていく。また連絡や報告は速やかに行っていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・園便りや行事前のお知らせ配布やコドモンでの発信など細やかに情報の発信を行うよう努めている。 ・コドモン導入する事で対応や確認がスムーズになった。 ・日々の活動の様子は連絡帳に写真やその時のコメントなどを添えるように子ども達の様子がより分かりやすく伝わるよう工夫している。	⇒今後も行事前などは、連絡帳で保護者との確認や共有を心掛けていく。園便りではクラスの今の様子が分かるよう、また活動の様子が分かるよう工夫し発信していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時に、個人情報の取り扱いについての説明と同意書の記入をして頂いている。 ・事業所内では、鍵付のカルテ庫に収納し取扱いには十分注意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードや文字、PECS等でコミュニケーション支援を行っている。 ・子ども達にとって分かりやすい方法を選択しやり取りができるよう努めている。	⇒今後も絵カード、PECSの使い方を研鑽しながらよりよい支援に繋げていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・コロナ前は実施できていたが、現在はできていない。今後は地域に開かれた事業として地域との交流が持てる取り組みを検討していく。
	非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等とともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各々マニュアルに沿って毎月訓練を実施している。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月、災害訓練を実施し避難経路等の確認を行っている。 ・訓練時には子ども達への説明など視覚的にに行い分かりやすく伝える工夫をしている。	⇒今後はさまざまな状況を想定した訓練を実施し、非常災害時に児童の安全の確保や落ち着いて対応できるようにしていく。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・入園前や面談等で確認し、服薬時は投薬依頼書を記入してもらっている。 ・お薬について不明な事がある場合は、服薬する前に必ず保護者に確認をするようにしている。 ・生活調査表や投薬依頼書で状況の把握をしている。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・入園前の面談で、食事についての聞きとりを行っている。必要に応じてアレルギー食の対応を行う。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画書の作成はできているが、研修や訓練等まだ十分ではないところがある。	⇒安全管理に向けた研修や訓練等を安全計画を基に実施できるようにしていく。職員全体で理解し取り組みを行っていく。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全確保について計画書に基づいた取り組み内容へのご家族への周知は十分ではない。	⇒保護者会や面談などでご家族にお伝えしていく。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事故に繋がる可能性がある事項について、職員間で共有するようにしている。	・物品修理や防止策はその都度行っているが、作成まで十分にできていない事がある。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・呼び方や伝え方など考えながら対応を行っている。	・法人研修等で虐待についての勉強会を行った。定期的の実施していきながら適切な児童への支援に繋げていく。研修に参加できない際にはノート等で共有し対応できるよう今後も努めていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				・現在対象となるお子様はいない。